

科目名	国語 I Japanese I			担当教員	富士原伸弘		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	14220001	単位区別	履修
学習目標	1. 現代文や古文、漢文の読解を通して、他人の物の見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。						
進め方	教科書を基に、講義と論述・発表演習を行う。特に、学習目標のうちA1～B3の項目に重点をおいて授業を進める。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. シラバス解説（1） 2. 評論「水の東西」（6） 3. 古文入門（7） 4. 漢文入門（7） [前期中間試験]（1）			物事の核心を把握する方法を身に付ける。 A3:1 論理的な文章の代表的構成法を理解できる。			
	5. 答案返却・解答（1） 6. 表現1：概説（3） 7. 評論「情報と身体」（6） 8. 古文「竹取物語」（6） 9. 漢文「故事成語」（6） 前期末試験			自己の主張を的確に展開する力を養う。 B2:1-2 代表的な古文を読み、人間・社会・自然について考えを深めたり広げたりすることができる。 A1:3			
	10. 答案返却・解答（1） 11. 表現2：プレゼンテーション演習（3） 12. 評論「なぜ私たちは労働するのか」（6） 13. 古文「伊勢物語 筒井筒」（6） 14. 漢文「論語」（6） [後期中間試験]（1）			データを効果的に説明する力を養う。 他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価することができる。 B3:1-2, C4:1-2 日本人の思考を知り、文化について考える。 A3:2			
	15. 答案返却・解答（1） 16. 表現3：文章表現（1） 17. 小説（一）・（二）を読む（6） 18. 古文「平家物語」（6） 19. 漢文「孟子」（6） 後期末試験			自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。 B2:1-2 登場人物の心情を体験する。 B1:1-2			
	20. 答案返却・解答（1） 21. 表現4：ディベート演習（2）			発言者の意図を正しく理解できる。 他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価することができる。 B3:1-3			
	[前期中間試験]（1）						
	[後期中間試験]（1）						
評価方法	年4回の定期試験90%、プレゼンテーション演習・ディベート発表・提出物等10%で評価する。						
履修要件	特になし。						
関連科目	国語 I（1年）→国語 II（2年）→国語 III（3年）→文学特論 II（4年）→文学特論（専攻科2年）						
教材	教科書：精選国語総合 三省堂 中洸正堯他編 参考書：新訂総合国語便覧 第一学習社						
備考	特になし。						